

公衆衛生看護技術開発研究会

2017はじまります

保健師による
保健師のため
の会(0)／



社会の変化に応じて、人々の「生」を衛るために公衆衛生の専門職はその活動を推進し、歴史を刻んできました。とりわけ、公衆衛生看護を担う保健師は、ゆりかごから墓場まで、あらゆる状態・状況にある人々を対象に、より健康な方向を目指してさまざまな活動を展開してきました。

しかしながら、その活動が複雑かつ多様であるがゆえに、保健師の公衆衛生看護技術として可視化することが困難という課題を常に抱えています。これにより、保健師としての自信低下や職能としての機能の脆弱化、社会的認知の妨げが生じている可能性があります。このような現状を解決・改善するには、公衆衛生看護技術の可視化と習得、普及に向けた研究活動を系統的かつ組織的に行っていくことが不可欠と考えます。

そこでこの度、公衆衛生看護並びに関連領域における技術の開発と普及に関する研究活動を行うことを目的として、その母体となる本研究会(通称ワザケン)を始めることにしました。ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

第1回ご案内

じっくり
聴こう!

日程：2017年2月18日 午後13:30-16:30

場所：大阪大学保健学科棟2階 第8講義室

<http://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/www/access/index.html>

内容：ワザ語りを聴く会 ～地域の強みを高めるワザを中心に～

講師：川口 真由美 氏（高石市保健福祉部 地域包括ケア推進課 課長代理）

山口 世志子 氏（岸和田保健所 地域保健課 総括主査 母子・難病・地域ケアチーム）

コーディネーター：岡本玲子（大阪大学 公衆衛生看護学教室）

申込方法：2/14までに、下記事務局あて、氏名・所属をメール（定員50名）

office.reiko@sahs.med.osaka-u.ac.jp

定例会：2・5・8・11月の第3土曜日 今後、大阪大学中ノ島センターを予定

2017年：第2回 5月20日／第3回 8月19日／第4回 11月18日



メール送信用
QRコード

内容
ワザ語りを聴く会
“聴かせて聴かせて光るワザ”
文献からのワザ探索会
“掘り出せ掘り出せ宝ワザ”
ワザ使いワークショップ
研究チームがまとめた技を伝授など
各日程の内容詳細は検討中
関連学会の自由集会でも開催予定

2017世話人

岡本玲子（大阪大学）
小出恵子（岡山大学）
蔭山正子（大阪大学）
岩本里織（徳島大学）
合田加代子（香川県立保健医療大学）
塩見美抄（兵庫県立大学看護学部）